

## 一級自動車工学科・自動車整備科 2026年度 授業計画

時期	1年C巡	単元	実習	教科名	1C_TM分解組立	
科目	自動車整備作業	教科書等 持参品	自動車整備士三級（総合） 実習ノート		発行日	2026.04.01
総時限	23時限				教科 担当	川田
総時間	36.8時間					古澤
単位数	1					

**1. 実務経験のある教員による授業科目 該当**

自動車整備士として、シャシ系統全般の整備の実務経験がある教員によりシャシの着脱、分解、組立、点検等について指導する。

**2. 教科の目的（この学科の狙い、目的を明確に記入）**

- ①マニュアルトランスミッションの構造、機能を理解する。
- ②動力伝達装置を総合的に学ぶ。

**3. 授業の到達目標（何を理解し何が出来るようになるのか）**

- ①マニュアルトランスミッションの分解、組立を通し、構造、機能が理解出来るようになる。
- ②変速機のギヤ比と回転数及びトルクの関係が理解出来るようになる。
- ③クラッチの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。
- ④プロペラシャフトの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。
- ③ファイナルギヤの整備に関して復習し点検・修正を理解出来るようになる。

**4. 学習評価（期末試験での主な試験項目）**

- ・学科履修試験で評価する。学科履修試験は80分間で実施する。  
○×、選択肢、記述により100点満点で評価する
- ・合格点：60点以上  
80点以上：優 60点以上：良（一級工学科70点以上） 60点未満：不可（一級工学科70点未満）
- ・不合格の場合、再試験を受験し、60点以上で合格とみなす。（一級工学科70点以上）  
再試験合格の場合、得点に関わらず評価は「可」とする。
- ・再試験不合格の場合、学校長の権限により教科判定試験を実施し、合格とみなす場合がある。

**5. 準備学習**

事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。  
実習ノートをもとにテキストを用い、自動車各部の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。

**6. 学修時間と単位**

本科目は、1単位あたり45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準としている。  
1単位の修得に必要な学修時間の目安は、30～45時間の授業および授業時間外学修（予習・復習など）15～0時間である。

